



IEEE1394 ファームウェア V1.07 により MOTIF XS シリーズに追加される機能

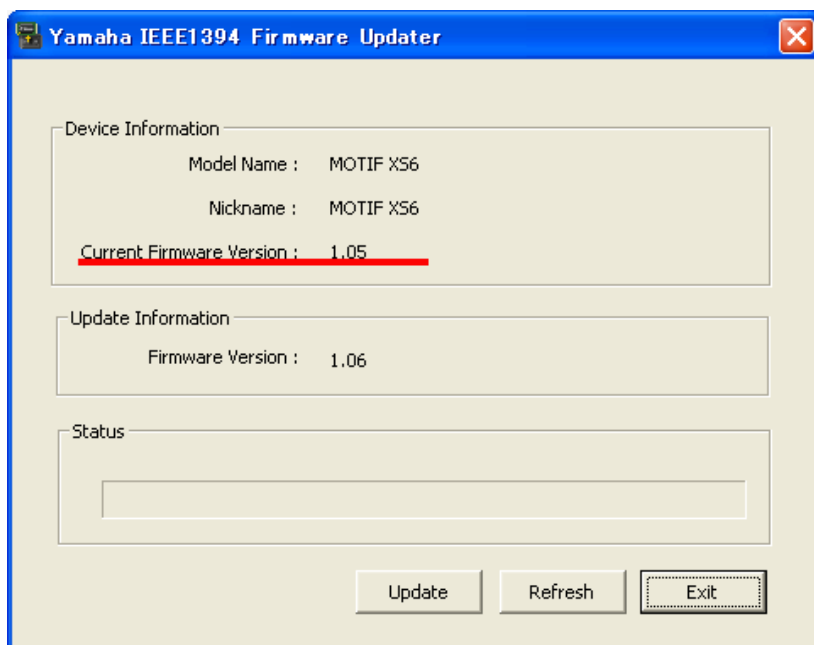
ヤマハ製品をご愛用いただきまして、まことにありがとうございます。
mLAN16E2 の IEEE1394 ファームウェアをアップデートすると、mLAN16E2 が内蔵/装着された MOTIF XS シリーズ (MOTIF XS6/7/8 および MOTIF-RACK XS) が、Yamaha Steinberg FW Driver 対応になります。これにより、MOTIF XS シリーズを IEEE1394 接続で MR816 CSX/MR816 X のような Yamaha Steinberg FW Driver 対応機器を使った音楽制作環境に組み込むことができます。
本書では、MOTIF XS シリーズを、Yamaha Steinberg FW Driver で使用するのに必要な操作を説明します。



MOTIF XS8 には、mLAN16E2 が内蔵されています。

■ IEEE1394 ファームウェアのバージョン確認方法

IEEE1394 ファームウェアのバージョンは「Yamaha IEEE1394 Firmware Updater」で確認できます。「Device Information」の「Current Firmware Version」に表示されるバージョンが現在のファームウェアのバージョンです。



■ コンピューター上での準備

MOTIF XS シリーズをコンピューターに接続する前に、下記の操作を行ないます。

- ・ Yamaha Steinberg FW Driver を、お使いのコンピューターにインストールしてください。

Yamaha Steinberg FW Driver は、下記の URL でダウンロードが可能です。

<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/dl/synth/motifxs/>

- ・ MOTIF XS6/7/8 の本体ファームウェアを V1.10 以降にアップデートしてください。

MOTIF-RACK XS のファームウェアをアップデートする必要はありません。

- ・ IEEE1394 ファームウェアを V1.07 以降にアップデートしてください。

操作手順については、「IEEE1394 ファームウェア アップデートガイド」をご参照ください。

■ MOTIF XS シリーズ本体での設定

上記の操作により、MOTIF XS シリーズ本体ユーティリティーモードの IEEE1394 Driver パラメーターの選択肢に、設定値「FW」が追加されます。この「FW」を選択することにより、Yamaha Steinberg FW Driver が使用可能になります。「FW」を選択したあと、[STORE] ボタンを押してユーティリティー設定を保存し、MOTIF XS シリーズ本体の電源を入れなおします。これにより、設定が有効になります。



IEEE1394 パラメーターを変更しストアを実行した直後の再起動時、オープニング画面が消えてから約 30 秒間、音が出ない場合があります。これは異常ではありませんので、絶対に電源を切らないでください。この間、MOTIF XS6/7/8 では「Please keep power on」が画面に表示されています。

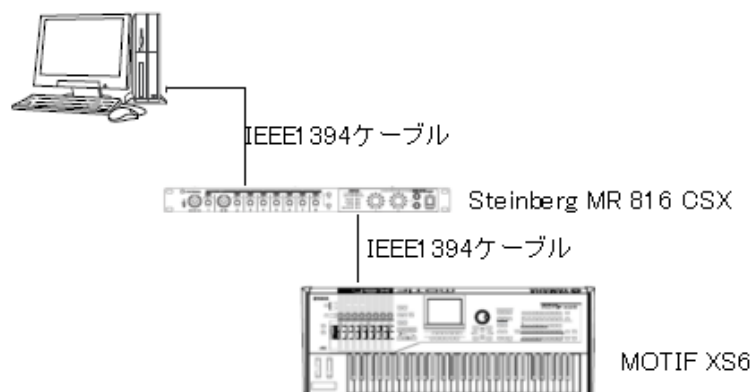


IEEE1394 パラメーターの各設定値は、コンピューターで使用するドライバーに合わせて設定してください。詳細は下記の表に従ってください。

IEEE1394 Driver パラメーターの 設定値	コンピューターで使用するドライバー
mLAN	AI Driver または mLAN Driver/mLAN Tools
FW	Yamaha Steinberg FW Driver

■ 接続例：MOTIF XS シリーズ、Steinberg MR816 CSX/MR816 X とコンピューターの接続

コンピューター、MOTIF XS シリーズ、および Steinberg MR816 CSX/MR816 X を、IEEE1394 ケーブルを使って下図のようにデジチェーン接続します。コンピューターに対してデジチェーン接続できる機器は、合計 3 台までです。
(例)



Yamaha Steinberg FW Driver を使ってコンピューターと通信できる MOTIF XS シリーズは 2 台までです。

* 本書に記載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。